

令和4年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 日吉小学校プラン

《学校の教育目標》 豊かな心を持ち、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 子どもの主体的・対話的で深い学びを育む安心・安全な教育活動の展開

生活場面や他の学習に活用できる基礎的・基本的な知識及び技能を習得する。【つくる力】

多様な考えをつくり、互いの考えを適切に表現し、伝え合うことができる。【つなぐ力】

課題解決に向かって、最後まであきらめずに挑戦しようとする。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載。
- ②児童の発達段階や特性を把握し、ユニバーサルデザインを活かした授業づくりの工夫をする。
(各教科:毎時間)
- ③教材の提示や情報の収集・整理・発信を行う等、授業で、コンピュータなどのICT機器をほぼ毎日使用する。
(毎日3回以上)
【成果指標】「コンピュータなどのICT機器を使うことは、授業の内容が分かりやすくなることにつながる」と答える児童の割合が80%以上。
- ④教員研修の充実とICTを活用した授業づくりの工夫をする。(外国語科、外国語活動:毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②働き方改革の推進のため衛生委員会の開催
(学期1回)と全児童5校時下校の設定(放課後の学級事務の時間設定)(学期末5日間)
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が85%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載



楽しい学校

- ①「日吉小学校アクションプラン」をもとに初期対応を徹底する。(毎日)問題の早期発見・早期対応を徹底する。(毎日)生徒指導部会でケースに応じた対応策を検討し、SCや専門機関との連携を強化する。(月1回)学校生活の状況や悩みを把握する教育相談週間を設定する。(学期1回)
【成果指標】不登校児童数が2人以下、認知したいじめの事案の解消
- ②計画委員会が主体となり廊下の通り方、運動場の遊び方等を全校児童に周知する取組を行う。(学期1回)
- ③縦割り集会を開催し、自分や友達の活動のよさを振り返る活動を行う。(年間3回)ペアやグループで考えを話し合い、相互評価する活動を行う。(毎日1回)

【体力向上】

- ①体育の時間のはじめに、持久力を高めるための体づくりの運動を行う。(毎時間)
- ②日吉小学校チャレンジ広場(長なわ、ドッジボールラリー等)(「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標90%以上
・スポコン広場登録学級数:目標6学級以上

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「あいさついっぱい運動」のアイデアを計画委員会で募集し、全校で実施・評価する。(毎学期)
- ②「もくもくそうじ」を合言葉に、掃除後の振り返りタイムでよさを出し合う。(毎日)
- ③「家庭学習のすすめ」を作成し、懇談会で説明し、学年ごとの内容や時間にそって実施・評価する。(毎日)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイントチェックリスト」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要綱 P93~参照]
- 【特別支援教育】「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のための8ステップス」を活用し、同学年や特別支援コーディネーターを中心に協働的な支援を行う。 [要綱 P114~参照]
- 【キャリア教育】キャリア・パスポートを活用して自他の伸びを認め合う。 [要綱 P128~参照]